

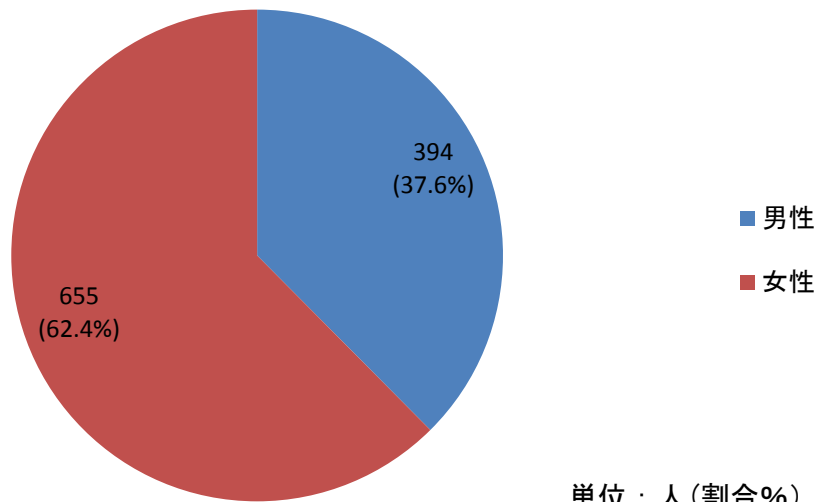
第10回eモニターアンケート 「多文化共生について」

実施期間
回答数

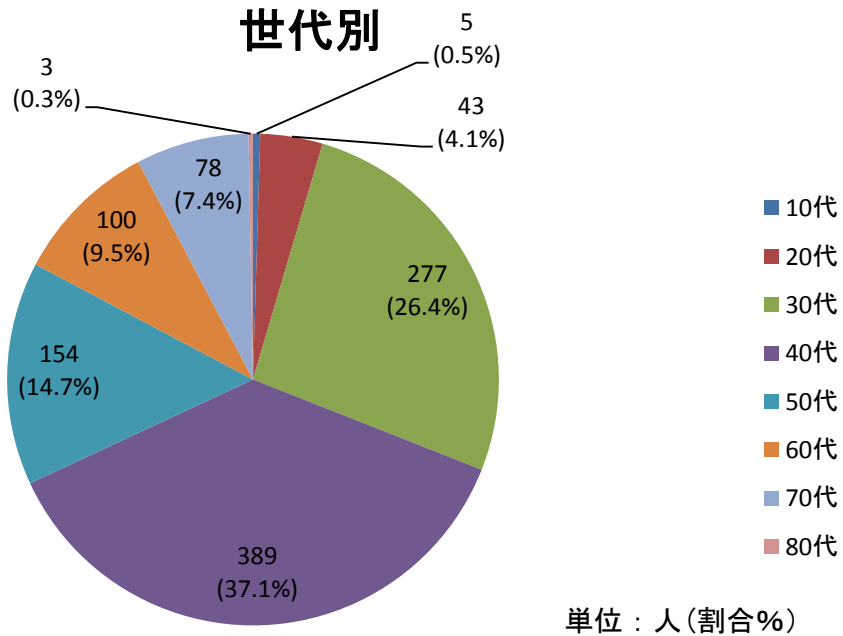
平成29年11月16日 ~
1049 人

平成29年11月23日

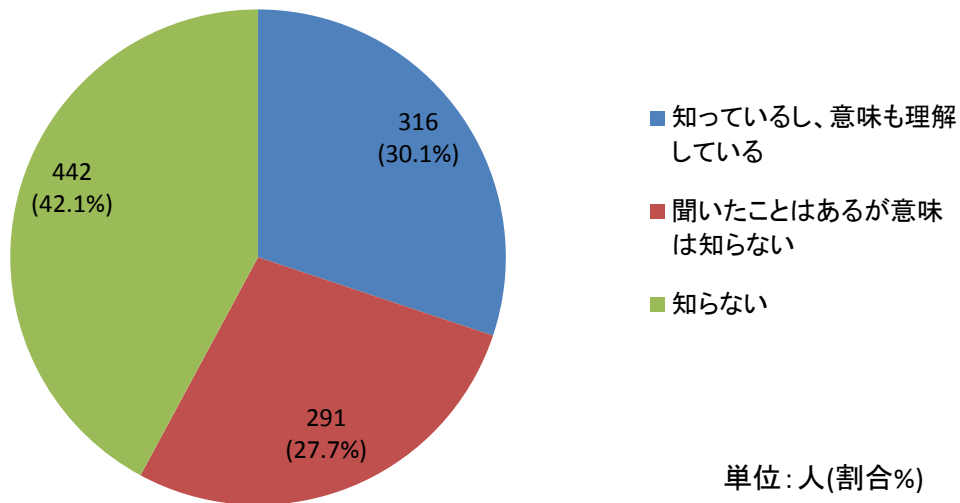
性別



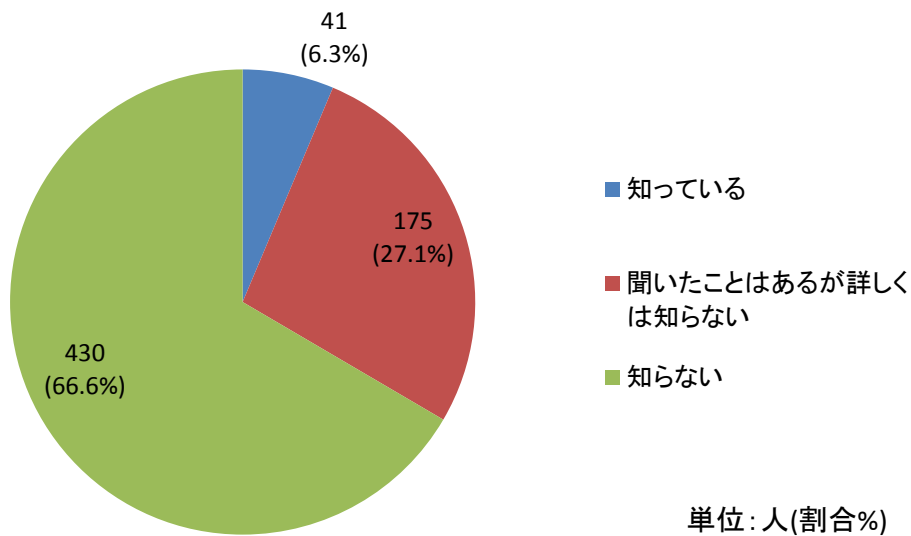
世代別



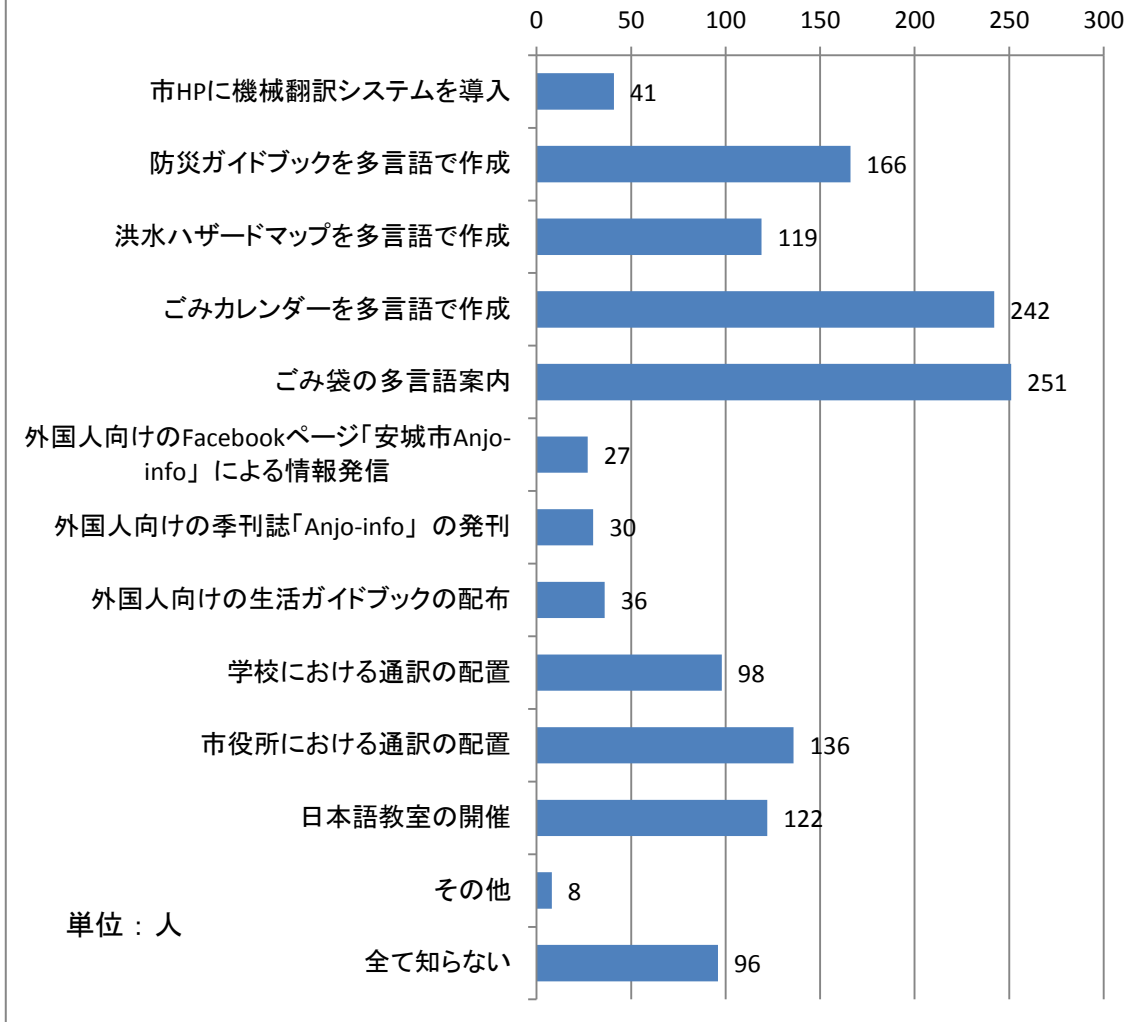
問1:「多文化共生」について



問2: 安城市多文化共生プランについて (問1で「知らない」と回答した人以外)



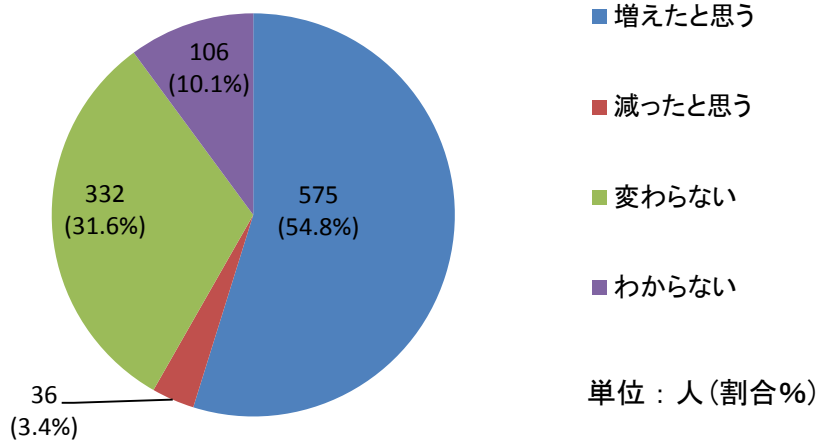
問3:安城市の多文化共生への取組みのうち知っているもの(複数回答。問1で「知らない」と回答した人以外)



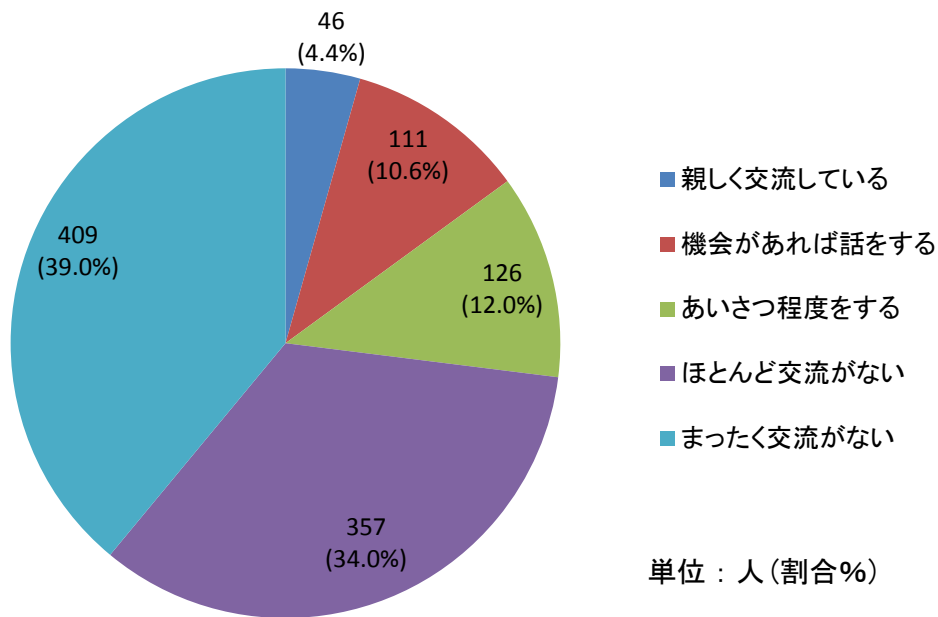
その他と回答した人の意見(抜粋)

- ・広報あんじょうに、外国語訳がついている
- ・トイレに外国語がかいてある。

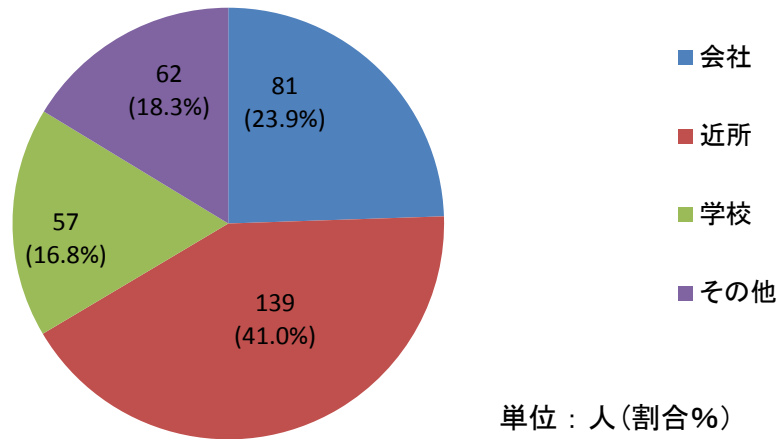
問4: 周囲に外国人住民が増えたと思うか



問5: 外国人住民との交流頻度



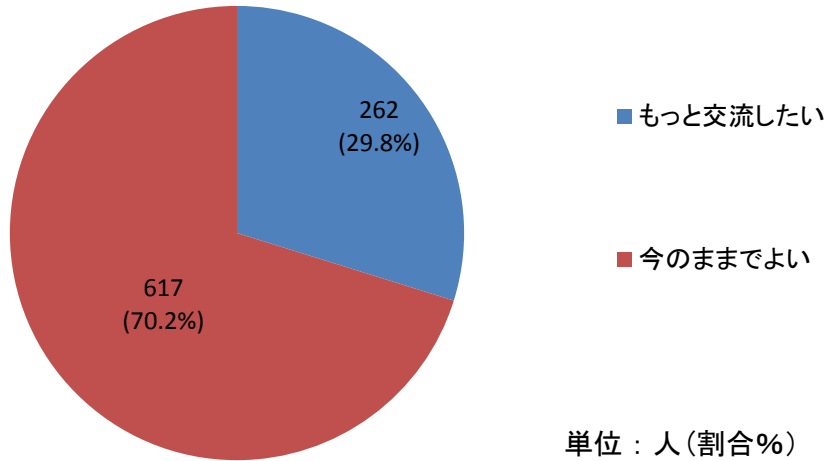
問6:外国人住民との交流場所 (問5で「ほとんど交流がない」「まったく交流がない」と回答した人以外)



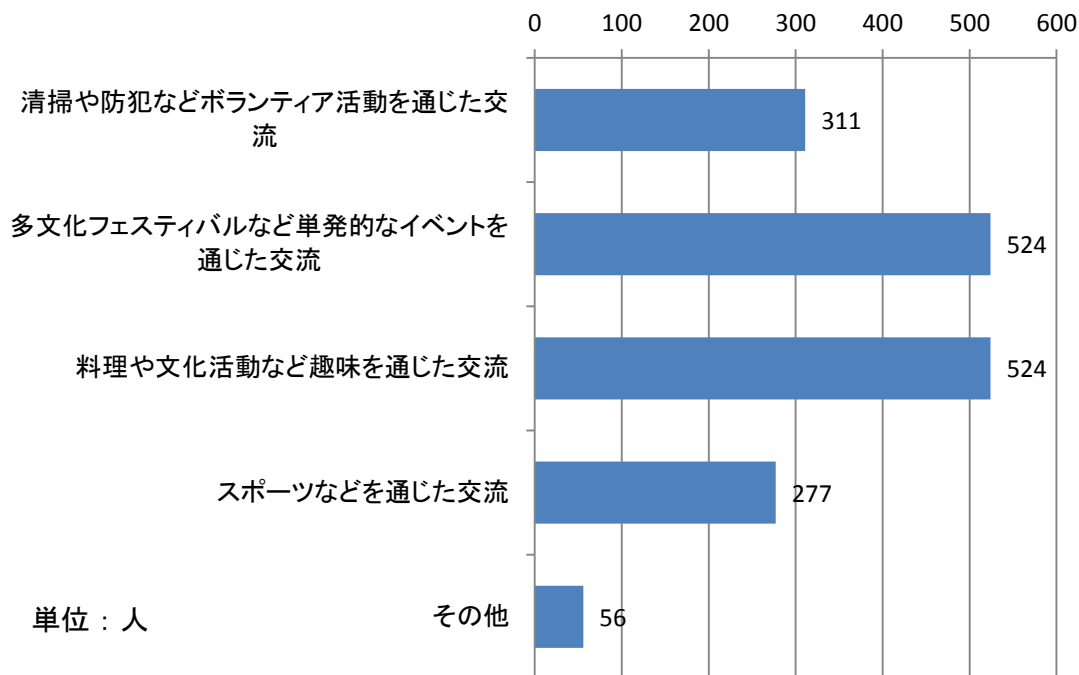
その他と回答した人の意見(抜粋)

- ・酒場
- ・語学教室やレストラン
- ・日本語ボランティア
- ・子供の保育園や小中学校
- ・幼稚園、市の講座やイベント
- ・アパートの住人として賃貸料の集金時に毎月顔を合わせ仕事のこと、ペットの事などを話す。
- ・通りすがりでの挨拶程度
- ・マンションの階段や玄関
- ・親類に外国人がいるので
- ・その外国人の経営する飲食店
- ・職場
- ・借りている畑の隣人
- ・シェアハウス
- ・習い事
- ・趣味の場で
- ・ランニングサークル
- ・外国人向けの日本語教室で日本語を教えている
- ・キリスト教会での集会などで
- ・友人 または 国際交流団体での会合
- ・スポーツジム
- ・主催する教室
- ・公民館、公園、電車
- ・海外旅行先でであった外国人ガイドさんとラインのやりとりがある。

問7:外国人住民との交流について
(問5で「ほとんど交流がない」「まったく交流がない」と回答した人)



問8: 希望する外国人住民との交流形態 (複数回答)



その他と回答した人の意見(抜粋)

- ・挨拶程度 ・仕事
- ・母国語の会話レッスンを受けたい。
- ・特別に外国人扱いせず、同じ人として、文化や考え方の違いがあるなら、楽しみたい。
- ・町内会運動会に誘って参加させる。夜勤勤務がほとんどでむずかしい。
- ・生活に密着した話題で、継続的に関わられるような交流
- ・現時点では必要な事がないので考えた事が無い。
- ・特別なイベント等で交流するより市民として、日常生活の中で教えたり教えられたりしたい。
- ・古い考えかもしれないが、あまり交流したいと思わない
- ・子供達を通じた交流
- ・良き隣人として日本人と同じく交流したい。ただ、困っていることがあれば手助けしたい。
- ・文化の違いでの喧嘩にはなりたくないなので積極的な交流には躊躇します。
- ・特に外国人だからと言って何をしたいわけではなく、日常生活で国籍を問わずに触れ合えたらいいと思っています。
- ・特別交流したいと思うことはない
- ・子供同士がなかよくなる、自然にふれあうようなこと
- ・地域の住民同士のご近所付き合い
- ・町内会活動で交流している。
- ・語学を教えあう
- ・子育てママ向けイベントや講座
- ・料理やスポーツに限らず、なんらかの共通の趣味を通しての交流
- ・地域での防災訓練を通じた交流をもっとしても良いと思う
- ・町内会などの地元の集まりや、各国を紹介するフェスなど
- ・友達になれるような交流の方法があるといいなと思います。
- ・日本や地域のルールを勉強できる場所での討論

問9：多文化共生に関する意見等、自由にご記入ください。(抜粋)

言葉の壁があり、お互いがなかなか積極的に会話が出来ません…市の企画で日本語を勉強する機会を沢山作って頂きたいと思います。(私が、アメリカ在住の際、いくつか無料の語学教室に参加していました)

基本、モラルなり、生活習慣なり、考え方が違うので、共生は無理だと思う。
こちらばかりが歩み寄るのはどうかと思う。

価値観が違うので、共生は難しいと思う。

言葉が通じないと交流したくても困難である。多言語での情報をいろいろ発信されているが、どの程度浸透しているのか？ 活用されているのか？ 生活環境の違いから、外国人が日本の環境に慣れるまで大変なことと思います。

子供は学校で言葉を覚えるが親は難しいと思うので、大人同士の交流で困った事などを聞いてもらえる存在になりたいと思います

近所の外国人はゴミの出し方や深夜の路上パーティや、日本の常識が通じない。
こちらから歩み寄りたくなるように、まず日本のマナーを身につける機会を設けてもらいたい。

最初は大変だが、親が学べばそのあとに続く二世三世も変わらなう。

出稼ぎにきた外国人の子どもがどんどん増えているが、弟妹の面倒をみて学校に通わず日本語を話せず体だけ成長していく子どもを見ると不安になる。

二世は母国に暮らした経験もなく日本にすむことしかできないので尚更力を入れてもらいたい。

外国人の文化を理解することも大切であるが、日本で生活する上での言語や文化を身につけていただくことが、長く一緒に仕事や生活をするためにダイジである。

学校で、異なる国の友達と交わる機会が多い子どもと違い、大人には自ら働きかけない限り、交わる事が少ない。何か力になりたいと思うのだが、なかなかできないのが現状だ。

何らかの理由で日本に住んでいるのだろうし、外国人だからといって他人の様な目で見るとはではなく、同じ人間同士、助け合ったりしていける世の中になってほしいと思います。

外国人のみなさんがもっと町内行事などに出る/参加されてもいいと思います。

「外国人」と構えなくてもいい時代がくるといいですね。

確かに近年、外国の人が増えています。

文化の違いがあって戸惑っている人がいるでしょう。そんな人たちを少しでも助けてあげたい。仲よくしたいです。でも、なかなかそんな機会がないです。そんな場を作ってください。よろしくお願いします。日本はいい国と印象もよくなるでしょう。

ご近所に外国人の方がみえます。日本語しか分からない自分ですが相手の方はどんどん日本語が上手になってます。特に構えず普通にお話することが一番のコミュニケーションだと思っています。

郷に入れば郷に従うことを理解させたい。

幼稚園、保育園に子どもを通わせるお母さん達を対象にした日本語教室ができるといいと思う。あいさつから、子どもに関係する話題(園での生活、遠足の持ち物など)から、小学校へ上がる準備など、(小学校から中学校もしかり)日本では当たり前なのが、外国をルーツにする人々には当たり前でないことを、もっと理解して行かないと、どちらにも住みにくい町になってしまうのではないのでしょうか。

イベントを外国人向けに開く事も良いとは思いますが、普通の市民向けイベントの中に外国人の方が市民と一緒に参加出来る形も良いのではないかと思います。

古い人間、考え方と自覚していますがどうしても日本人以外とは積極的に話そうとは思いません
でも同じ目的、目標を共有出来ればそれは変わってくると思います

私は地域の行事等を利用した交流を主に行なっていけば良い結果に繋がると思います。

昔住んでいた地域に比べ、安城は(特に我が家のマンションでは)外国の方がとても多いです。文化が違うのは理解しているのですが、踊り場での大声での会話や音楽をガンガン鳴らして楽器の演奏など、正直日本では迷惑になる行動もあるので、少しでも日本のマナーを理解してもらい、そういった催し物が出来る場所も提供してあげれば良いのではないかと思います。

無理に設けなくても自然な形で仲良くなれたらいいなと思います。

外国の方も自然に溶け込めたらいいですね。

まずは、日本人の文化やルールに慣れてほしい。その上で多文化の共生を図りたい。

私は文化に対して特にこだわりは無いが、頑固な人もいるので簡単に他の文化を受け入れることを強制するのは難しい。例えば私は特に信仰している宗教は無いが、強く信仰している人は絶対に節を曲げない。「郷に入っては郷に従え」とは言われるが、それは無理である。だから私は異なる文化で暮らしてきた外国人とはあまり付き合いたいとは思わない。

あまりピンとこないのが実際なのですが、子どもたちは私たち世代よりも必須になると思うので、何か親としてできること(子供向けイベント参加など)があればいいなと思います。

外国人の多い学区なので子供とは関わることが多いですが、言葉が話せない親御さんも多くあまり交流ができていません。私たちの子供の頃に比べたら、外国人だからと偏見を持つことはなくなりましたが、もっと子供達が外国の文化に触れる機会を作り、分かりあうことができれば、子供達が大きくなった時にもっと共生が実現できるのではないのでしょうか。

学校で地域の外国人の方と交流できる機会や行事があればいいと思います。

町内会などに参加してもらったりスポーツなど交流して知って行きたい

<p>外国の方が積極的に楽しみながら、日本人と話せる機会をつくると思います。 多国籍グルメマルシェとか？多文化ふれあいイベントとか？何か出し物をして貰うとか？日本人がマルシェをやるお客様は日本人になります。外国人がやれば、興味のある日本人も来ますし勿論外国の方も来ると思います。</p>
<p>同じ町内で、ゴミの出し方がまだまだ分かってない世帯があるのを見かけます。近隣の方や市の職員の方などが適切なアドバイスが出来ればよいのですが。</p>
<p>今後多文化共生について、もっと意識したいと思った。取り組みをもっとアピールして欲しいです。</p>
<p>中学の頃同級生だったブラジル人の男の子は、ピアスをしていたり彼女らしい子を沢山つくっていたりと他の男子とは明らかに違って恐かった。しかしピアスは赤ちゃんの頃から当たり前の国もあり、世界からみたら逆に日本の男子は幼すぎるのかもしれない。多文化共生とは自分視点以外のアングルを持つことなんだと思った。</p>
<p>近所に住まれる外国人などと顔が合えば会釈位する程度で、会話にまで進むことは難しい。特に何かきっかけがなければ、交流にまでは進めない。言葉の壁は大きいです。習慣の違いや意思の誤解などで問題が生じることが心配でもある。とは言え、国内に住んでいる外国人も多いので仲良く共存共栄することは大事なことであります。</p>
<p>多文化共生という言葉自体初めて聞きました。 「外国の方が、近くに住んでいる」ということを認識しているだけでなく、交流を持とうとしたことがなかったので、少しだけ意識してみたいと思いました。</p>
<p>外国人の方と一緒に仕事をしていますが、一生懸命仕事はしますが基本的なマナーが守れず仲間と衝突する事が多々あります。良い時は良いが共生するのは国によっては難しい事もあると思います。</p>
<p>外国の方が住みやすい環境作りだけでなく、日本の文化やマナー礼儀を守る必要性を感じられる取り組みをしたい。</p>
<p>家の周りにはいないが、時々歩いているのを見かける。でも、日本語を話せる人かどうかわからないし、話すきっかけもない。外国人もコミュニティの中で生活していて、日本人と接する機会を失っていると思う。</p>
<p>構えることなく、自然に市民として尊重しあいたい。</p>
<p>自分が海外で生活することをイメージしてどうすればいいか考えてみたい</p>
<p>時代の流れで これからもっと 外国人が増えると思いますが・・・治安が一番心配です</p>
<p>近所に外国人が住んでいます若い方が多く、年配の私は道で会っても声を掛けにくいし、先方もだいたい無視していきます。お互い、自分の世界があり干渉する必要もありませんが気になるのはゴミ出しのルールを外国人の方はあまり守られていないことです。殆どの外国人の方はアパート住まいで地域の町内会には加入していません。私の近くのアパートは専用のゴミステーションがありますがルールを無視したゴミ出しが日常的に行われております。多文化共生を、といっても現実には難しいなと思います。</p>
<p>外国の住民の方とは近所ですれ違った時挨拶するくらいですが、挨拶もタイミングによって、声が出ない事もあり残念に思う事が多いです。身近で気軽に交流できる機会があると良いと思います。</p>
<p>職場に来るお客さんと関わりを持つことが時々あります。国同士がギクシャクしても、ひとりの人間として話すみんな同じだなあと感じます。</p>
<p>初めて聞きました。今後は意識してみようと思いました。</p>
<p>子を持つ親として、子供がいるが、日本語があまり得意ではないお母さんなどの手助けができたという気持ちがあるが、こちらから声を掛けにくいし、どうしていいかはわからない。</p>
<p>多文化共生を掲げる市自体の取り組みが多言語の書類作成や通訳とか事務的なことばかりで、こういうことが地域社会で共に生きていくということなのでしょう。</p>
<p>外国人は外国人同士で固まっていることが多く、近寄りにくいところがある。以前外国人の日本語教室のお手伝いをしていた時、毎週関わっていたが、話してみるとみんな普通の人。お互いの文化の違いをもっと理解し合う機会があると良いと思うが、イベントとかではなく、普段の生活の中で身構えずに自然に関わると一番良いと思う。</p>
<p>外国のかたはきっと同じ母国の知り合いが近辺にいと嬉しいと思います。私達日本人との交流も大事だと思いますがそのような母国同士の交流もできたら安心ではないでしょうか。</p>
<p>多文化共生は心にゆとりがなければ上手くいかないと思っている。要するに寛容な心で許容することができる精神状態を維持しなければならないので、難しいと思う。戦前の日本ならばすんなりと受け入れられたと思うが、核家族化が進み、お隣がどんな人かも認識していない人が、多文化共生を実践できるのか興味深いことです。</p>
<p>知り合いの外国人で安城市在住の小学生の母親の方は、学校からのお知らせなどのプリントを読むのに困っています。他の地域に住んでいる外国人の友人も学校や園からのプリントに困っていたり、役員やお手伝いもどうせ外国人だからやらないだろうと詳しく説明もされずに陰口を叩かれて嫌な思いをしています。日本ならではのなんとなくの常識をわかりやすくし、外国語や文化を教えてもらい知識の幅を広げる多文化共生の良いところが伸びていくといいなと思います。</p>
<p>交流にあたって、言葉の壁が問題。日常会話ができるツール・システム等があったらいいと思う。</p>

<p>自分の子供の頃に比べて、クラスに外国人の友達が数人いるのがあたりまえになっている今、わが子たちは何のためらいもなく彼らと接しています。どちらかと言うと大人のほうが偏見から壁を作ってしまうがちなのかもしれません。子どもたちに学びながら、いろんな文化の人が安心してくらせる安城市をみんなで作っていききたいです。</p>
<p>立場をかえて、私が外国で生活をするようになったら「多文化共生」を強力に思うだろうから、これからは少しでも「共生」の気持ちを持っていくようにします。</p>
<p>国籍や民族に限らず、その人のことを表面的でないレベルで知るには時間がかかると思う。</p>
<p>昔は団地に住んでいてブラジル人が多く周りに住んでいたが、交流も特に無く、外国人同士で集まっていると少し怖い印象があった。</p>
<p>食文化交流など、皆が興味を持ちやすいイベントを通して国際交流ができれば良いと思う。</p>
<p>外国人が増えるといい事もあるが心配なこともある…ゴミの出し方やマナー違反があったりもする。交流をもって教えてあげるのも方法の1つなのかもしれない。</p>
<p>子どもの学校でも、外国人の子たちがとても多い。言葉がわからない中、一生懸命勉強している子たちに関心するし、学校や病院へ行っても、感じのいい親たちがたくさんいる。でも周りの話や、病院での年配の方たちの偏見の目は根深いと感じる。交流があれば、話を一度でも試みて笑顔がそこにあれば、偏見なんて簡単に消えていくものだと思う。市として交流できる場がどんどんできていって、外国人の子ども達や、頑張っている親たちが生きやすい日本、市にしてほしいと思う。</p>
<p>町内で問題があると、「あそこの外人じゃない？」って感じで、根拠もないのに外国籍の方のせいにする所がある。そんな偏った考え方を変えていきたいし、外国籍の方が住みやすい、理解しあえる環境を作りたい。</p>
<p>私の部落は、外国籍の方が多いのです。これは子供にとって、インターナショナルを学ぶ良い機会です。もっとお互いに良い方向に持って行けたらいいな。同じ人間なのですから。</p>
<p>外国人を避けているわけでも差別しているわけでもないが、なかなか接点がないのが実情。とはいえ、会合があれば行くかと言われればYESとは即答できない。</p>
<p>顔見知りになるのは大歓迎だが、依存度を高められすぎると困ってしまうこともあるかなと。</p>
<p>外国人とは百円ショップやフリーマーケットで見かける事が多い。</p>
<p>交流の場を設ける場合は、不用品のリサイクルバザー等を利用すると、良いのでは・・・？</p>
<p>外国の方とのコミュニケーション必要性を感じることはあるが、なんとなく一線を引いてしまうのが現実。イベントに参加するなどして関わるなら、無理のない交流の第一歩かもしれないが、なかなか、私にはその一歩が難しい。</p>
<p>人類すべて平等の意識があれば特別の行事等は不要</p>
<p>偏見をなくしてお互いが楽しくかかわっていくようにしたいと思うし、必要なら手助けしたりしたい。</p>
<p>様々な文化を背景にした人がいるなら、その人たちと共生していくのは当然と考えます。しかし、ここは日本であるので日本の文化をもっとも重要と考えます。すべての人が日本の文化を尊重し、それを中心として多文化をプラスしていくことが重要と思います。日本を外国化することではなく、日本文化を中心とすることを忘れてはいけなとを考えます。</p>
<p>会社では、3カ国ほどの人達と一緒に仕事をしているが、やはり、言葉は壁です。こちらが、相手の言葉がわからないので困る。英語もそうですが、もっと、接点の多い国の言葉を覚えれる機会を安城市で設けて欲しい。希望は、ベトナム語、ペルー語、ブラジル語、中国語です。相手の言い分がわかれば、こちらも、それなりの対応ができ、トラブルも減らせると思うし、いい関係が築けると考える。</p>
<p>言葉や習慣の壁があり…難しい問題だと思います。</p>
<p>頑張っ交流しなくても、お互いが困らない程度でよい。日本人どうしても同じ。</p>
<p>今まで、あまり考えたことがなかったが、考えていかないと。安城市全体で考えることは大事だと思う</p>
<p>労働者等として企業が雇っている人とその家族の場合が多いだろう。今は退職しているが、現役中は外国人客員教員と日本人や欧米人の大学院生の教育も行なった。在学中は後輩に中国や中東の留学生もいた。日本人学生等に賃金を払い、彼ら及びその家族の日々の生活全般について張り付いて細かく世話をしていた。外国人を呼ぶことは、呼んだところが世話をするのが当然で、雇っている所に代わって市町村が税金を使って世話をすることは筋違いと思う。十分に世話を受けた外国人は日本の生活に溶け込めているので、彼らとは相互理解活動に限った助成が肝要。</p>
<p>お互いの文化を知らないが故に起こる誤解や迷惑行為を減らすために積極的に交流や学習する機会を作るべきだと思います。</p>
<p>あまり近所で見かけないので、なんともいえない。</p>
<p>ただ、こちらが積極的であっても、相手がどの程度関わりをもちたいかもポイントじゃないかと思う。</p>
<p>文化の違いで不和がうまれるのは当たり前なので、それを埋められるような場があればと思います。</p>

外国人に向けてはそのまま障害者や高齢者に対する親切と同じだと思う。進んで声掛けしたり、色眼鏡で見ないように、時には彼等をそのまま受け入れる事。外国人だから外国語で話し掛ける必要もない。
彼等を馴染ませるには、ゆっくり気長に安城の雰囲気伝えて行けば良い。

囲碁とか歌声広場などを今やっていますが、純日本的で外人が入る余地がないですね。失礼になりますが、外人さんはどういう経歴（短期に来ている人か、数年いる人か）も分からないですね。共生と言葉は綺麗ですが、実際どうやっていくかは、具体的な地に着いたことから進める事が必要なのかなと思います。

外国の方とは言葉が判らないので進んで交流することに気後れします
多くの国が抱えている難しい問題だと思う。綺麗事ばかりではなく、民族や人種で争う事が多々ある。
知り合いの外国人に日本語講座を勧めてみたけど、車がないから遠いし、時間も限られていて行けない。外国人コミュニティがあるから日本語下手でも大丈夫と言われました。そういう人を少しでも減らさないとお互い理解し合えないと思う。

外国の人たちへの嫌悪感や不安は少ないと思います。ただ、学校や会社、地域コミュニティが外国の人たちにとって暮らしやすいと言われると、おそらくその不自由さに気づくほど外国の人たちのこと知らないのだと思います。
外国の人たちにとって暮らしやすい環境を作るには日本人と関わりことが大切だと思うので困ったときに相談したり、助け合えるコミュニティ形成を促していただくとより良い社会になるのではないかと思います。

多文化共生のためには、日本のことを理解してもらおうと同時に、外国の文化についても理解することが必要だと思います。
身近な外国人の文化について、理解できるイベントのようなものを開いて、理解をお互いに深められる機会を設けることも必要かと思います。

交流することにより文化の違いは理解できると思うし、折り合いもつけることが可能だと思いますが、ごみだしのことだけでも大変な様子を見たことがあるので、最初は橋渡しをしてくれる人やものが必要なかなと思います。

言語の問題がなければ近所付き合い程度の事はするべきだと思う。

小学校や中学校に外国人の生徒達の中で、日本語が理解でき会話もできる子もいるが、日本語がほとんど分からないこの方が多い。そんな子たちに対して、日本語を教えたりサポートする先生や日本語教室が非常に少ないと思う。行政からは、学校に日本語が分からない生徒が一定数以上いないと学校が望んでも専任教師が派遣されないと聞く。日本語が分からないと学校で勉強したくてもできない。それを助けてくれる行政が手を差し伸べてくれないでは、多文化共生とは言えないと思う。

ゴミ出しのルールが守れない外国人の方は、分別の習慣がないだけで悪意のない人が多数だと思う。分別の意義を理解してもらうには町内会だけでは対処しきれないので、市に積極的に介入してほしい。パンフレットやチラシを配布するだけでは見てもらえないと思うので、生活に関することはセミナー等への参加を義務付けて（初めて日本または安城市に住む人対象）、直接指導してほしい。

言語で意思疎通が図れない上、自治会のルールも守れないでは、共生は厳しいと思う（多言語で書いても守るとは限らない）。高齢者に対し、自宅訪問等の行政フォローがあるなら、外国人に対しても同様のフォローをしては、どうか？
私の近所にも日本語の話せる外国人が多く住んでいらっしゃるが、日本語を話せる方は、意思疎通が出来、ルールを守っている方が多いように思う。逆に意思疎通出来ない人は、ルールを守らない（守り方が分からない？）人が多い気がする。行政で日本語を話せない人達と自治会の橋渡しをしては、どうかと思う。

無理に交流をする必要も無いように思う。外国人だからという特別扱いが、偏見を生んでしまうのでは。普通に暮らす同じ市民であれば良い。

外国人に限らず、近所の人とは挨拶程度のつきあいであることがほとんど。地域の人とまずは挨拶程度のつきあいができるように地域の活動で交流ができるとよいのではないかなと思う。
単発的なイベントで、子供達が異文化に触れる機会があるとよいと思う。食事や遊びなどを通じて、自然と多文化に触れることで多文化を身近に感じられ、異文化という意識がなくなることが多文化共生につながると思う。もちろん、子供だけでなく大人も必要なので、子供を通じて親も触れることで身近に感じられると良いと思う。

外国人が多く住む場所のゴミステーションが凄くマナー違反なのが気になります。管理会社の方からしっかりと教えてあげて欲しいです。

日本の人口が減少しているため、今後は大幅の移民等を検討してかざるを得ないため、こういう取り組みが必要となってくる。大いにすすめるべきである。

日本語が話せなく、孤独な方がいるはずなので、もっと交流できたらいい。
お子さんがいる方は、話せないからと、PTA役員免除はやめてお手伝い程度参加して同じ親同士仲良くなれそう。